



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 高木 信之
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	61,373	1.9	1,830	80.4	1,671	76.9	1,331	△41.3
2025年3月期第3四半期	60,205	12.1	1,014	—	945	—	2,267	—
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		640百万円(△18.4%)		2025年3月期第3四半期		785百万円(△28.9%)		
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2026年3月期第3四半期	67.09		—					
2025年3月期第3四半期	114.32		—					

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	126,623	56,886	46.8
2025年3月期	122,297	57,237	47.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 59,251百万円 2025年3月期 58,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円	銭	円	銭	円
2026年3月期	—	24.00	—	25.00	49.00
2026年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	円
通期	85,000	5.9	2,800	164.7	2,400
					1,800
					△31.9
					90.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)
- | | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2026年3月期3Q | 20,652,400株 | 2025年3月期 | 20,652,400株 |
| 2026年3月期3Q | 813,671株 | 2025年3月期 | 813,611株 |
| 2026年3月期3Q | 19,838,761株 | 2025年3月期3Q | 19,838,789株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続く一方で、世界経済は、一部の地域において足踏みがみられ、地政学リスクの高まり、中国における景気の減速、米国の通商政策等による景気の下振れリスクなどにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、最終年度を迎えた第5次中期5ヵ年経営実行計画「V-ACTION for sustainability」のもと、重点施策に取り組んでおります。「のばす」ミッションに位置付けた光硬化型樹脂およびファインケミカル製品においては、生産能力増強が完了し、需要増に向けた量産化を推進しております。また、ライフサイエンス分野（ヘルスケア、アグリ、コスメ）での事業化に向け、松や微細藻類などの天然素材を活かした新規事業の展開にも注力しており、収量の向上や猛暑などの環境ストレス耐性の強化などに効果がある農業資材「EcoRosin®（エコロジン）」の販売を開始しました。水素化石油樹脂につきましては、千葉アルコン製造株式会社の安定稼働を重要な全社課題と認識し、「アルコン特別委員会」を中心に課題解決に向けた体制を強化したことにより、稼働率が改善しております。

業績面では、スマートフォンの出荷台数の回復や半導体、生成AI、データセンターなどの注力分野に関連し、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂の販売は前年同期を上回り、ファインケミカル製品とハードディスク用精密研磨剤の販売は過去最高水準を維持しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は613億73百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は18億30百万円（同80.4%増）、経常利益は16億71百万円（同76.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億31百万円（同41.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

＜機能性コーティング事業＞

電機・精密機器関連業界は、電子部品などの需要が堅調に推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は、スマートフォンやディスプレイ関連分野での需要が伸長し販売が増加しました。また、「そだてる」ミッションに位置付けている熱硬化型樹脂も新規採用や拡販により販売が増加しました。

その結果、売上高は138億63百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は16億79百万円（同70.9%増）となりました。

＜製紙・環境事業＞

製紙業界は、国内の紙・板紙生産量は前年を下回る水準が続いております。中国では需要が振るわない中、生産量は増加傾向が続いており、他のアジア地域の市況に影響を与えるなど厳しい状況にありました。このような環境のもと、当事業におきましては、海外での紙力増強剤も価格競争の激化により、利益を押し下げました。

その結果、売上高は153億82百万円（前年同期比7.4%減）、セグメント利益は10億64百万円（同27.4%減）となりました。

＜粘接着・バイオマス事業＞

粘着・接着剤業界は、米国関税政策の不透明感が自動車関連分野を中心に見られ、テープやシート類用途の需要は弱含みとなりました。このような環境のもと、当事業におきましては、ロジン系の粘着・接着剤用樹脂はアジア地域を中心に販売が堅調に推移しました。また、水素化石油樹脂につきましては、欧州向けに安定的な供給を開始しております千葉アルコン製造株式会社は、稼働率が改善しているものの目標には届いていない状況にあります。

その結果、売上高は210億65百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント損失は10億41百万円（前年同期はセグメント損失16億75百万円）となりました。

<ファイン・エレクトロニクス事業>

電子工業業界は、電子部品などの需要の回復が見られ、生成AIの需要増加に伴うデータセンターへの投資が堅調に推移しております。このような環境のもと、当事業におきましては、半導体関連先端材料のファインケミカル製品の販売が増加し、データセンター向けのハードディスク用精密研磨剤は、旺盛な需要により、販売が好調に推移しました。また、増強した半導体関連先端材料用の新設備については5月から減価償却費の計上を開始し、顧客での認証取得後、来年度後半からの量産化を予定しております。

その結果、売上高は110億4百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は5億97百万円（同18.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ43億25百万円増加し、1,266億23百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が33億74百万円、電子記録債権が5億99百万円、投資有価証券が15億78百万円増加したものの、有形固定資産が18億14百万円減少したことによります。

負債は、長期借入金が20億91百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が5億95百万円、短期借入金が54億33百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ46億76百万円増加し、697億37百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したものの、為替換算調整勘定や非支配株主持分が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億51百万円減少し、568億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました業績予想に修正はありません。

(参考) 千葉アルコン製造株式会社の減価償却費

単位：百万円

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度（予想）	2026年度（予想）
1,043	2,315	1,954	約1,600	約1,400

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	9,431	9,400
受取手形及び売掛金	25,884	29,259
電子記録債権	2,258	2,858
商品及び製品	12,619	12,994
仕掛品	1,468	1,634
原材料及び貯蔵品	9,730	9,573
その他	997	1,563
貸倒引当金	△126	△119
流动資産合計	62,264	67,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,604	17,987
機械装置及び運搬具（純額）	13,487	12,159
土地	5,008	5,008
建設仮勘定	846	1,083
その他（純額）	1,092	986
有形固定資産合計	39,039	37,225
無形固定資産	1,374	1,136
投資その他の資産		
投資有価証券	10,105	11,684
退職給付に係る資産	7,392	7,675
繰延税金資産	288	173
その他	386	414
貸倒引当金	△86	△83
投資その他の資産合計	18,086	19,864
固定資産合計	58,500	58,225
繰延資産		
開業費	1,532	1,232
繰延資産合計	1,532	1,232
資産合計	122,297	126,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,200	9,796
電子記録債務	1,172	1,341
短期借入金	18,319	23,752
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	774	197
未払消費税等	52	260
賞与引当金	1,370	725
役員賞与引当金	27	22
修繕引当金	820	957
事業整理損失引当金	56	59
資産除去債務	26	—
設備関係支払手形	104	133
その他	5,682	6,137
流動負債合計	37,608	48,382
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	11,061	8,970
繰延税金負債	4,161	5,172
退職給付に係る負債	259	264
資産除去債務	1,832	1,833
その他	135	113
固定負債合計	27,451	21,354
負債合計	65,060	69,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	40,619	40,958
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	46,315	46,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,384	5,720
為替換算調整勘定	4,671	4,060
退職給付に係る調整累計額	3,103	2,815
その他の包括利益累計額合計	12,159	12,597
非支配株主持分	△1,237	△2,365
純資産合計	57,237	56,886
負債純資産合計	122,297	126,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	60,205	61,373
売上原価	47,765	48,124
売上総利益	12,440	13,248
販売費及び一般管理費	11,425	11,418
営業利益	1,014	1,830
営業外収益		
受取利息	75	65
受取配当金	201	239
不動産賃貸料	42	43
為替差益	124	3
その他	145	204
営業外収益合計	589	555
営業外費用		
支払利息	281	351
社債発行費	24	—
開業費償却	297	297
その他	56	66
営業外費用合計	659	715
経常利益	945	1,671
特別利益		
固定資産売却益	984	2
投資有価証券売却益	478	377
特別利益合計	1,462	379
特別損失		
固定資産除売却損	72	129
関係会社株式評価損	—	305
解決金	—	155
特別損失合計	72	590
税金等調整前四半期純利益	2,334	1,460
法人税、住民税及び事業税	961	656
法人税等調整額	401	645
法人税等合計	1,362	1,301
四半期純利益	971	159
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,296	△1,172
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,267	1,331

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	971	159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	1,336
為替換算調整勘定	6	△566
退職給付に係る調整額	△235	△288
その他の包括利益合計	△186	481
四半期包括利益	785	640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,149	1,768
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,364	△1,127

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,334	1,460
減価償却費	4,157	4,126
開業費償却額	297	297
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2	△5
賞与引当金の増減額（△は減少）	△534	△639
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	20	△5
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	10	4
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△250	△282
事業整理損失引当金の増減額（△は減少）	△40	－
固定資産除売却損益（△は益）	△911	127
投資有価証券売却損益（△は益）	△478	△377
関係会社株式評価損	－	305
解決金	－	155
受取利息及び受取配当金	△277	△305
支払利息	281	351
売上債権の増減額（△は増加）	△2,847	△4,214
棚卸資産の増減額（△は増加）	521	△486
仕入債務の増減額（△は減少）	681	837
未払消費税等の増減額（△は減少）	207	294
その他	△367	△251
小計	2,802	1,393
利息及び配当金の受取額	282	309
利息の支払額	△276	△347
解決金の支払額	－	△160
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△784	△1,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,023	△105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	299	1,159
有形固定資産の取得による支出	△2,383	△2,453
有形固定資産の売却による収入	772	2
投資有価証券の取得による支出	△47	△35
投資有価証券の売却による収入	606	470
無形固定資産の取得による支出	△68	△40
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△9	△33
その他	△174	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,005	△1,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	900	5,414
長期借入れによる収入	405	－
長期借入金の返済による支出	△2,633	△2,107
社債の発行による収入	4,975	－
社債の償還による支出	△5,000	－
自己株式の取得による支出	－	△0
配当金の支払額	△952	△991
その他	△11	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,315	2,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	△4
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,338	1,128
現金及び現金同等物の期首残高	9,164	6,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,826	7,563

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,703	16,613	20,572	10,247	60,136	69	60,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	28	28
計	12,703	16,613	20,572	10,247	60,136	97	60,234
セグメント利益又は損失(△)	982	1,466	△1,675	735	1,509	41	1,550

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,509
「その他」の区分の利益	41
全社費用の配賦差額(注) 1	△20
コーポレート研究開発費用(注) 2	△284
営業外損益(注) 3	△231
四半期連結損益計算書の営業利益	1,014

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,863	15,382	21,065	11,004	61,315	57	61,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	29	29
計	13,863	15,382	21,065	11,004	61,315	87	61,403
セグメント利益又は損失(△)	1,679	1,064	△1,041	597	2,300	29	2,330

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,300
「その他」の区分の利益	29
全社費用の配賦差額(注) 1	97
コーポレート研究開発費用(注) 2	△365
営業外損益(注) 3	△231
四半期連結損益計算書の営業利益	1,830

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費
および新規事業開発費であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	10,357	9,204	8,355	6,619	34,536	69	34,605
中国	1,420	2,916	6,155	1,674	12,166	—	12,166
アジア（中国除く）	842	4,478	3,179	1,823	10,324	—	10,324
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	82	14	2,880	130	3,108	—	3,108
顧客との契約から生じる収益	12,703	16,613	20,572	10,247	60,136	69	60,205
外部顧客への売上高	12,703	16,613	20,572	10,247	60,136	69	60,205

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	10,986	8,672	8,371	7,354	35,384	57	35,442
中国	1,785	2,485	7,027	1,633	12,932	—	12,932
アジア（中国除く）	1,037	4,222	3,077	1,935	10,273	—	10,273
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	54	3	2,588	80	2,726	—	2,726
顧客との契約から生じる収益	13,863	15,382	21,065	11,004	61,315	57	61,373
外部顧客への売上高	13,863	15,382	21,065	11,004	61,315	57	61,373

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。